

■**斎藤実** **海軍軍人**，**政治家**。**海軍**で出世，**朝鮮総督**後，〈**五・一五事件**〉で首相になるも，〈**二・二六事件**〉で暗殺。

さいとうまこと

五ヶ国条約・1858＝ 陸奥(岩手県)の水沢で，水沢藩士斎藤耕平の長子に生まれた。

桜田門外変・1860＝ 2歳：

後藤新平とは幼な友だち。

大政奉還・・・1867＝ **9歳**：

明治維新・・・1868＝10歳：

同地の立生館に学び，

学問のすすめ1872＝14歳：上京。

明治6年政変 1873＝15歳：海軍兵学寮に入り，

三つの反乱・1876＝**18歳**：(兵学寮を兵学校と改称)

琉球処分・・・1879＝21歳： **海軍兵学校を卒業。少尉補。**

海軍の先輩仁礼景範の女婿となり，

明治14年政変1881＝23歳：

新体詩抄・・・1882＝24歳：少尉。

秩父事件・・・1884＝26歳：中尉に任ぜられ，**アメリカ留学**。**初代の米国駐在公使館付武官**となる。

内閣発足・・・1885＝**27歳**：

帝国大学始・1886＝28歳：大尉。

初の対等条約1888＝30歳： **帰国して，海軍参謀本部出仕。**

帝国憲法発布1889＝31歳：海軍参謀部第1課員，高雄砲術長，常備農隊参謀，

足尾鉍毒始・1891＝33歳：海軍参謀部出仕，

大本教・・・1892＝34歳：高雄副長心得。

郡司千島探検1893＝35歳：少佐となり，大臣官房人事課課僚兼軍務局第1課課僚。

日清戦争始・1894＝**36歳**：日清戦争では侍従武官，軍艦和泉の副長を務める。

日清戦争終・1895＝37歳：和泉副長に就任。戦後の常備艦隊参謀，

白馬会・・・1896＝38歳：富士の副長となり，同艦の日本回航の任にあたった。

八幡製鉄始・1897＝39歳：中佐。さらに大佐となり，秋津洲艦長。

子規句歌革新1898＝40歳：***第2次山県有朋内閣の山本権兵衛海相により海軍次官に抜擢され，以後7年間にわたって山本権兵衛海軍大臣を輔佐して，日露戦争に備えての海軍大拡張の事業と，この戦争中の海軍経営の仕事とにあたった。この間，二度にわたって軍務局長を兼任し，一時，艦政本部長・教育本部長を兼任した。**
少将を経て，

日比谷公園・1903＝**45歳**：

日露戦争始・1904＝46歳：中将に昇任。

日露戦争終・1905＝47歳：日露戦争後，

満鉄発足・・・1906＝48歳：***第1次西園寺内閣の海軍大臣に就任し，**

韓国反日暴動1907＝49歳：男爵，
以後，5内閣の海相に8年余にわたり留任し，八八艦隊の実現を目標として海軍軍備の拡充に努める。

明治天皇没・1912＝**54歳**： **大将となったが，**

第一次大戦始1914＝56歳： **第1次山本内閣がシーメンス事件の余波で倒れると，同事件の責任を取って辞任，予備役編入となる。**

ベルサイユ条約・1919＝61歳：***原敬内閣により朝鮮総督に起用され，いわゆる文治政治のもとに三・一運動後の朝鮮統治にあたった。**

原敬首相暗殺1921＝**63歳**：

治安維持法・1925＝67歳：子爵，

金融恐慌・・・1927＝69歳： **ジュネーブ軍縮会議全権に任じられ，帰国後朝鮮総督を辞任，枢密顧問官となったが，**

世界恐慌・・・1929＝71歳： **ふたたび朝鮮総督に就任した。**

海軍軍縮条約1930＝**72歳**：

満州事変・・・1931＝73歳：朝鮮総督を辞任。

五一五事件・1932＝74歳： **五・一五事件後，首相となり挙国一致内閣を組織し，非常時のもとで“時局匡救”にあたるとともに，満州国承認，国際連盟脱退などでは軍部に追隨した。しかし5相会議では荒木貞夫陸相の対ソ予防戦争論を抑え，軍人出身ではあるが中間的・現状維持派的な対応を示した。**

国際連盟脱退1933＝75歳： **帝人事件により内閣総辞職し，**

芥川直木賞始1935＝77歳： **牧野伸顕の後任の内大臣となったが，“現状維持派”の総本山と目されて，**

二二六事件・1936＝78歳：***二・二六事件で坂井直中尉の率いる部隊に襲撃され，東京市四谷区仲町の自邸で殺害された。**
大勲位に叙され，従一位に追陞。夫人のハル子は，海軍中将仁礼景範の長女である。

「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，「日本の群像」，平凡社百科事典，